

テクニカラー／パナビジョン

ROBERT REDFORD
in a new picture
JEREMIAH JOHNSON

大いなる勇者

平和を愛する心に復讐の炎は燃え 美しいロッキー山に凄絶な死闘は続く！伝説に生きる孤独の英雄(ジェレマイア・ジョンソン)の物語！



ロバート・レッドフォード／ウィル・ギア／アリン・アン・マクレリー
ステファン・ギーラッシュ／チャールス・タイナー／デル・ボルトン

監督レッドフォード／製作ジョー・ワイザン／脚本ジョン・ミリアス&エドワード・アンホルト／音楽ジョン・ルビンスタイン&ティム・マクランティヤ
ジョー・ワイザン＝サンフォード作品／ワーナー・ブラザーズ映画／From Warner Bros., A Warner Communications Company



近日ロードショウ

新宿ピカデリー (354) 2411

大いなる勇者

カラーン
テクニバナビジョン



■解説

文明に背を向けて山奥深くはいり込みきびしい自然との戦いの中に生きることの意義を見い出そうとする若者が、凶悪なインディアンに愛するものを殺されて復讐の鬼と化し、血みどろの死闘の日々の中に人間の生と死の意義をつかみ、さらに奥深い山中で孤独な戦いに挑んで行く。

主人公にはアメリカ映画界の若手を代表する口バート・レッドフォード。彼は「明月に向って撃て！」をはじめとする一連の作品の中で、ヒーローの生き方の中に現代の若者たちに共鳴する青春の夢と挫折を演じてみせているが、この作品でもさらに鮮明なたちをとって表現さ

れ、みごと成果をおさめている。

監督は「インディアン狩り」「ひとりぼっちの青春」の鬼オシドニー・ボラック、撮影は、ボラック監督と息の合った「ひとりぼっちの青春」のデューク・キヤラハンが当たっている。

主人公の妻になる

インディアン娘には二〇〇名の中からデル・ボルトンが選ばれ、フラットヘッド族のジョン・アーリーが風俗習慣などのアドバイスを担当している。



(上映時間
一時間四九分)

男の中の男、その厳しさが張りつめた口ッキー雪山のアメリカ開拓の足跡。それなのに見たあと、寂しさが胸をしめつける。

これはクロウ族殺しのジョンソン。とても呼びたいような逞しいマウンテン・マンの物語でありながら、ここには口ッキーの幽霊を見ること恐怖、口ッキーの狼の遠吠えを聞くこと哀感、そして山に魅入られその死の呼び声の前で全身全霊で生きぬく男のものがきが感じられた。

ウエスタンにはあらゆるスタイルをへて再び懐しいモンナナの北、その北米インディアンと白人の物語に立ち戻った。サイレント映画に見た数々の、インディアン妻をめぐったスコウ・マンと呼ばれる白人男の物語のあの懐しさ。

しかしシドニー・ボラック監督はそのサイレント映画のクラシック・ロマンをいとしみながら、今日のアメリカの怒りと迷いと進路を失った孤独、そのあがきに對し、叩きつけるかのようにこのマウンテン・マンの勇気を示しているようにも見えた。しかも悲愴なその勇気を。

彼の力作「いのちの紐」は死の寸前の生命への格闘。彼の映画詩、ひとりぼっちの青春」は生命をすりへらしついに死を求めた敗北。これら二作の演出美がさらに磨きをかけて、生きぬく。

鑑賞ポイント

ウェスターの原点を見た！

—厳しいマウンテン・マンの生態—

〈映画評論家〉淀川長治氏

逞しさを示そうとする。雪中行き倒れの凍死男。何十年口ッキー山中に住みつき今は白髪老人。あるいは頭を丸坊主にしてまでインディアンを殺しまくりに、そのインディアンに生きながら土中に埋められ、なおも豪笑する男。そのマウンテン・マンたちが、たつた一人で大自然の中で生命に對していること。さらに夫も子供もインディアンに殺戮され発狂した女一人生き残るその子供が恐怖のあまり嘔けりてはてしている。

この映画は、モンタナ未開原野一八五〇年代のそれら悲惨な白人アルバムをひもときながらクロウ族インディアン一人が雪の谷川で餓死迫るジョンソンをジッと馬上から見つめる。その恐怖のシヨックから、やがて最も兇暴なクロウ族・ブラックフィート族そして温和なフラットヘッド族を紹介し、それら北米インディアン生態、木上らに死者を葬る風葬の跡なども見せながら、マウンテン・マンの何たるかを開拓史を読みふける実録的興味で盛り上げていく。

一日に向って撃て！の口バート・レッドフォードを主演者に得て、この逞しいマウンテン・マン物語に孤独な影を加えた。そしてまたしても彼の代表作に加えられるこれは見事な演技で